

令和7年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

数 学

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号
2 東書	数学 002-72・002-82・002-92
4 大日本	数学 702・802・902
11 学図	数学 011-72・011-82・011-92
17 教出	数学 017-72・017-82・017-92
61 啓林館	数学 061-72・061-82・061-92
104 数研	数学 104-73・104-83・104-93
116 日文	数学 116-72・116-82・116-92

数 学

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

2 東書 4 大日本 11 学図 17 教出 61 啓林館 104 数研 116 日文

2 調査研究の観点

- (1) 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することができる内容であるか。
- (2) 心身の発達段階に適応した数学的活動を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。
- (3) 各領域の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (4) 用語、式、図、表、グラフ等の表記や表現が適切であり、学習内容の理解や問題の解決に役立つよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

- (1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。
- (2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。
- (3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。
- (4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)(4)

- ① 総ページ数
- ② 領域別のページ構成
- ③ 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ
- ④ デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

(2) 数学的活動に関すること…………… 観点(1)(2)

- ① 問題発見・解決の過程について
- ② 数学的な見方・考え方について
- ③ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

(3) 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること…………… 観点(2)

(4) 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること…………… 観点(3)

(5) 表記や表現に関すること…………… 観点(4)

- ① 式、図、言葉等の数学的な表現について
- ② ユニバーサルデザインに関する配慮について

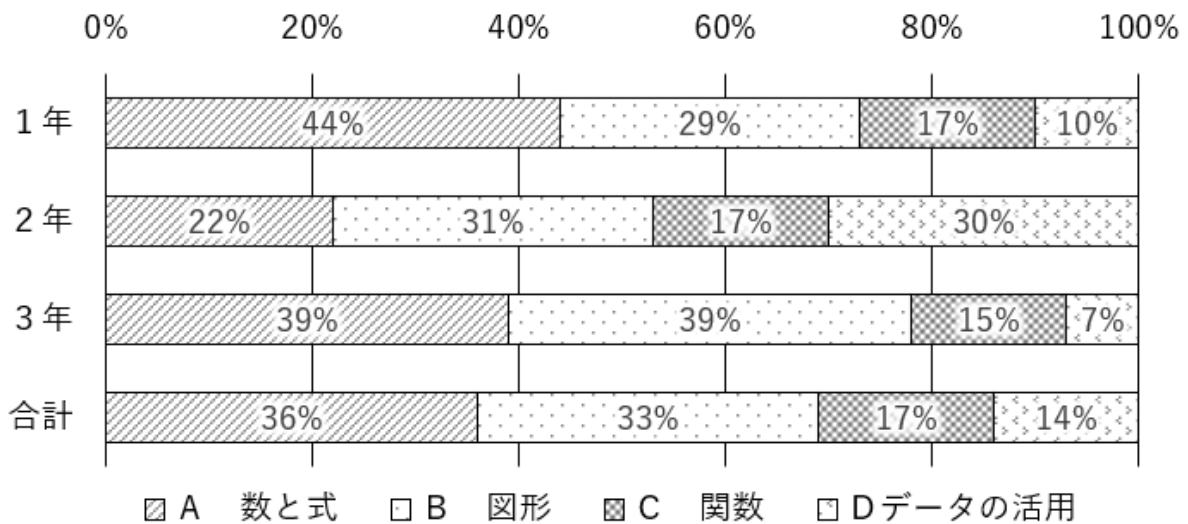
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数（補足的・発展的な内容、巻末資料等を含む）

1年	2年	3年	合計
324	260	292	876

(2) 領域別のページ構成（補足的・発展的な内容、巻末資料等を含まない）

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	104	68	40	24	236
2年	46	64	36	62	208
3年	82	81	32	14	209
合計	232	213	108	100	653



(3) 補足的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補足的な内容を扱うページ	18	19	21	58
発展的な内容を扱うページ	2.5	4.5	3	10

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	241	192	215	648

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めにある「章とびら」では、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「Q 考えてみよう・調べてみよう」や「？」が設定されている。
- 「深い学び」のページでは、「問題をつかむ」「見通しをたてる」「問題を解決する」「振り返る」「深める」の学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「学びをふり返ろう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中や章末の「ふり返り」に「虫めがね」マークがあり、数学的な見方・考え方が示されている箇所がある。
- 巻末に「数学の目でふり返ろう」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 本文中にある「ちょっと確認」では、既習事項が示されている。
- 巻末に「補充の問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章や各節の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「章の問題 B」の「活用の問題」等では、日常生活や他教科の学習内容に関わる題材が設定されている。
- 「深い学びのページ」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「数学×仕事」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある「学びのベース」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 第2、3学年では、本文中に高校数学と関連した内容が示されている箇所がある。
- 巻末にある「数学の自由研究」では、興味・関心に応じて取り組む内容が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得るときの参考となる、「D」マークが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「数学マイノート」が設定されている。また、各学年1箇所設定されている「数学の自由研究」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

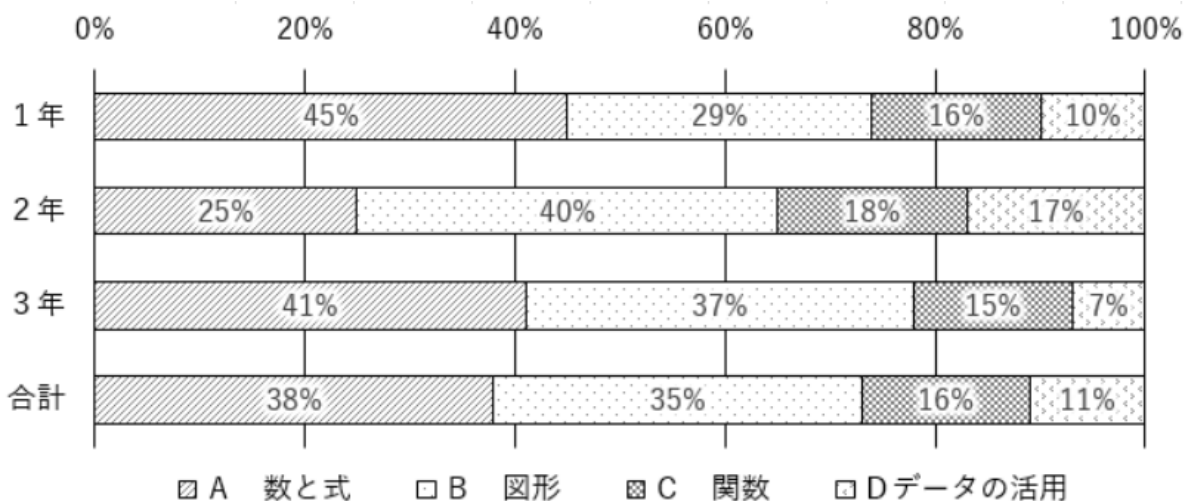
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
324	250	302	876

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	110	71	39	24	244
2年	52	68	31	30	181
3年	86	78	30	17	211
合計	248	217	100	71	636



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	18	14	22	54
発展的な内容を扱うページ	2.5	4	11.25	17.25

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	20	12	21	53

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各節の始めには、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「?考えよう」が設定されている。
- 「～の利用」という節では「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「判断しよう」「伝えよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 巻頭にある「数学の世界へようこそ」では、数学的な見方・考え方が示されている。
- 数学的な見方・考え方を働かせる場面は、キャラクターの吹き出し等で示されている箇所がある。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めに、その章に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「学びにプラス」では、章での学習内容と関連する日常的な場面等を扱う題材が設定されている。
- 「MATHFUL」や「活用・探究」では、日常生活や社会の事象に関わる問題が示されている。
- 「社会にリンク」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある第1学年の「小学校算数のふり返し」、第2学年の「1年の復習」、第3学年の「1・2年の復習」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 巻末にある第3学年の「高校ではどんな数学を学ぶのかな」では、高校数学と関連した内容が示されている。
- 本文中の「活用・探究」では、学んだことを活用して学習を深めたり、広げたりする内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得るときの参考となる、「WEBマーク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートづくり」が設定されている。また、第1学年では2箇所、第2、3学年では1箇所設定されている「レポートを書こう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

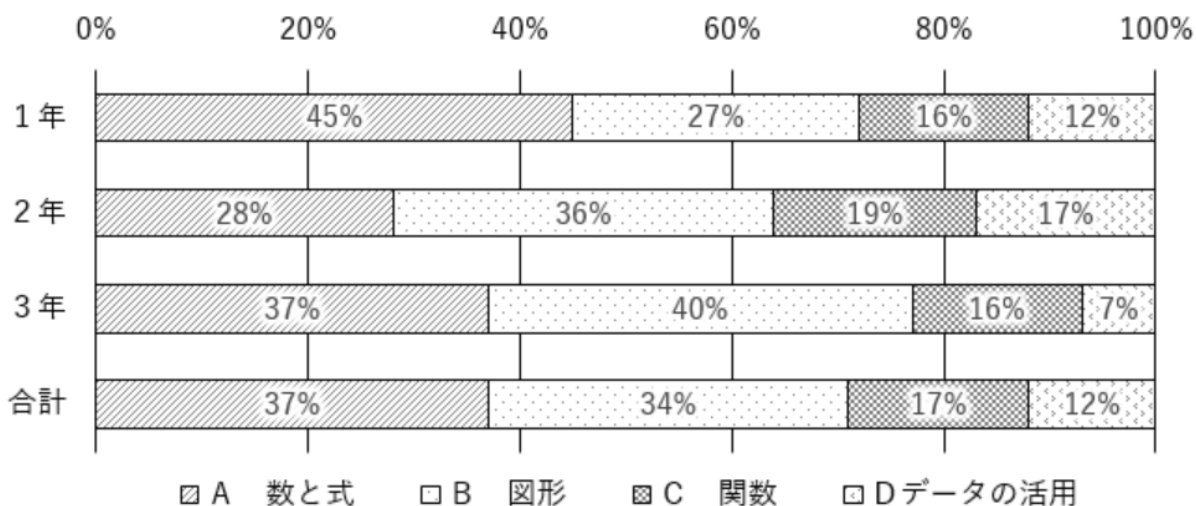
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
326	268	328	922

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	118	70	42	33	263
2年	57	74	38	36	205
3年	91	99	39	19	248
合計	266	243	119	88	716



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	8	8	16	32
発展的な内容を扱うページ	6.25	8	8.5	22.75

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	128	87	118	333

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めでは、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながるキャラクターの会話が示されている。
- 「～の利用」という節では「問題を見つける」「予想する」「解決する」「新たな問題を見つける」等の学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「説明する力をつけよう」「どんなことがわかったかな」「次の課題へ！」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中に「見方・考え方」が設定されている箇所がある。
- 巻末に「見方・考え方をまとめよう」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各領域の前にある「ふりかえり」では、その領域に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「1年の復習」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章や各節の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「深めよう」や「数学の歴史の話」では、日常生活や他教科の学習内容に関わる題材が設定されている。
- 「疑問を考えよう」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「数学の力」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 各学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 各学年の領域ごとにある「ふりかえり」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 巻末にある第3学年の「高校へのかけ橋」では、高校数学と関連した内容が示されている。
- 巻末にある「さらなる数学へ」では、既習事項が示され、学んだことを活用して学習を深めたり、広げたりする内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる、二次元コードが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートを使い方」が設定されている。また、各学年1箇所設定されている「表現する力を身につけよう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

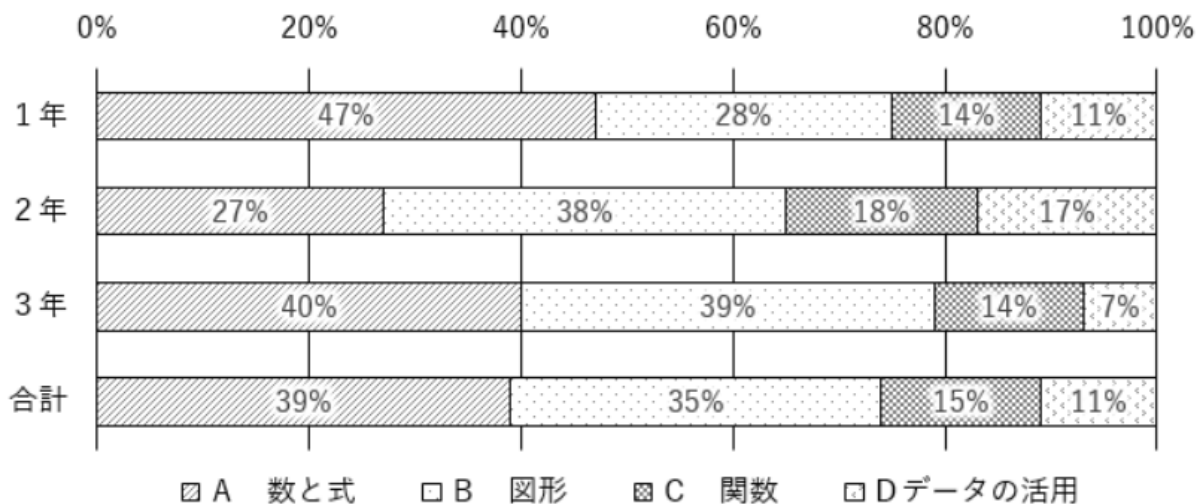
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
346	278	314	938

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	120	72	36	29	257
2年	55	78	36	35	204
3年	92	88	31	17	228
合計	267	238	103	81	689



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	16	14	18	48
発展的な内容を扱うページ	3.25	4.75	8	16

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	124	79	84	287

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各節の始めでは、その節の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「Q」が設定されている。
- 「～の利用」という節では「学びのプロセス」により、学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「みんなに説明しよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中に「見方・考え方」で示されている箇所がある。
- 巻頭に「大切にしたい数学的な見方・考え方」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めにある「～を学習する前に」では、既習事項が示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めにある「Let's TRY」では、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「数学の広場」では、章での学習内容と関連する日常的な場面等を扱う題材が設定されている。
- 「数学の広場+」や「学んだことを活用しよう+」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「数学しごと人」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある「学びのマップ」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 巻末にある第3学年の「ひろがる数学」では、高校数学と関連した内容が示されている。
- 巻末にある「学んだことを活用しよう+」では、学んだことを活用して学習を深めたり、広げたりする内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得るときの参考となる「まなびリンク」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭等に「工夫してノートを書こう」が各学年2箇所設定されている。また、各学年1箇所設定されている「レポートを書こう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

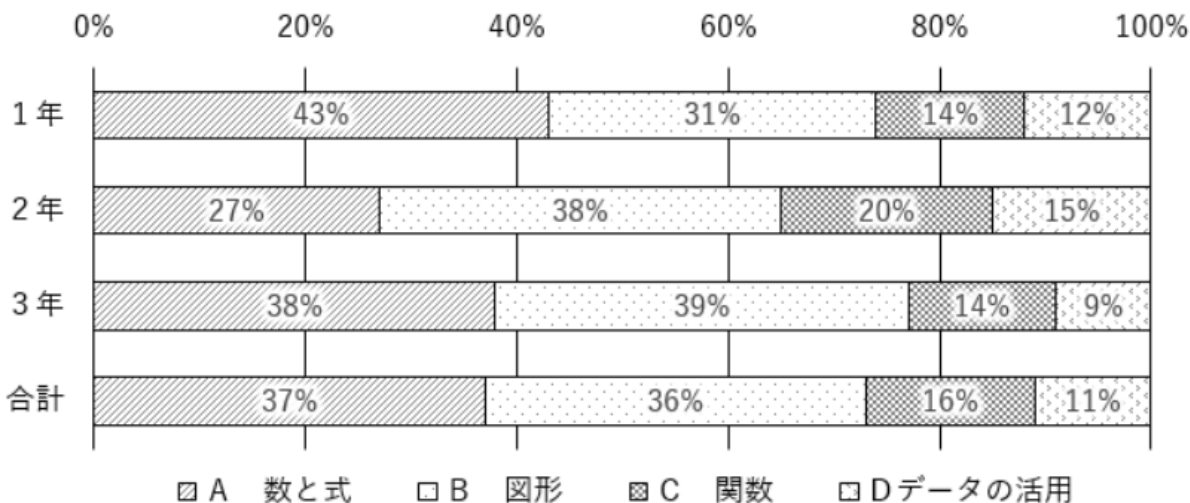
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
302	238	282	822

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	102	72	34	27	235
2年	48	68	36	29	181
3年	80	82	30	17	209
合計	230	222	100	73	625



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	20	18	22	60
発展的な内容を扱うページ	2	2	12	16

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	191	144	170	505

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各節の始めにある「節とびら」では、その節の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「ひろげよう」が設定されている。
- 「～の利用」という節では「問題発見・解決の流れ」として「ステップ1」～「ステップ3」の学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中に数学的な見方・考え方がマークで示されている。
- 巻頭に「いろいろな場面で役に立つたいせつな考え方」が設定されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 本文中にある「ふりかえり」では、既習事項が示されている。
- 巻末に「もっと練習しよう」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「数学ライブラリー」では、章での学習内容と関連する日常的な場面等を扱う題材が設定されている。
- 「数学広場」の「学びをいかそう」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「社会見学にいこう」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1、3学年の図形領域には操作活動用の折って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある「学びをふりかえろう」では、前年度までに学習した内容が示されている。
- 巻末にある「学びをいかそう」では、高校数学と関連した内容が示されている箇所がある。
- 巻末にある「数学ライブラリー」では、興味・関心に応じて取り組む内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる、二次元コードが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートをくふうして、学習に役立てよう」が設定されている。また、各学年1箇所設定されている「学びをいかそう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

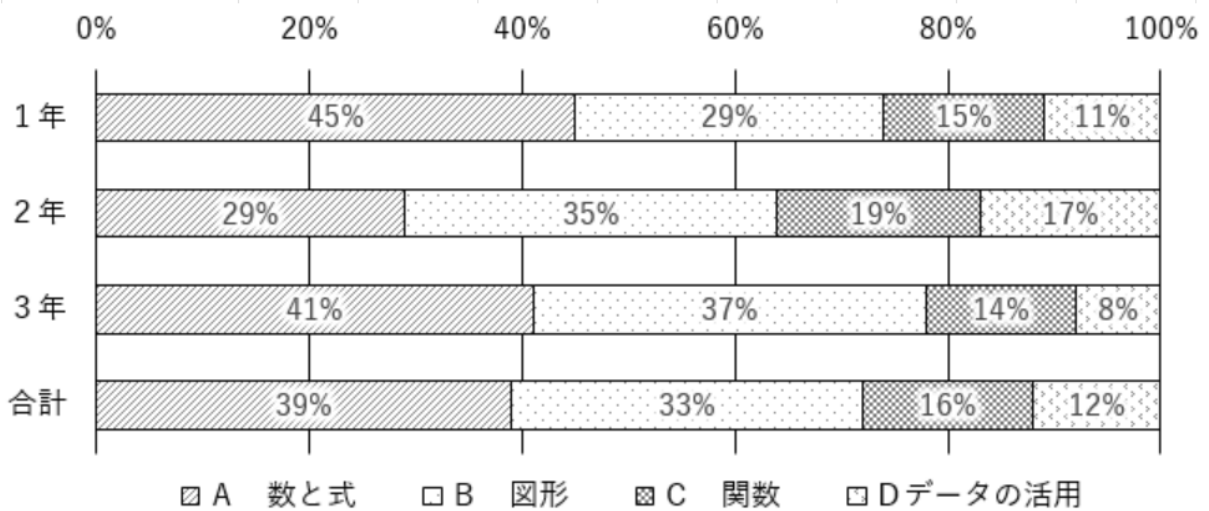
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
320	270	328	918

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	110	70	36	26	242
2年	58	68	38	33	197
3年	95	87	33	18	233
合計	263	225	107	77	672



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	22	20	33	75
発展的な内容を扱うページ	2	2	12	16

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	116	96	106	318

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めでは、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「Q」や「TRY」が設定されている。
- 「～の利用」という節では、キャラクターの会話や発問により、学習の流れが示されている。
- 学習場面に応じて「説明しよう」「見つけよう」「やってみよう」「考えよう」等が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 巻頭に「数学的な見方・考え方」が設定されている。
- 数学的な見方や考え方を働かせる場面は、キャラクターの会話等で示されている箇所がある。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めにある「ふりかえり」では、その章に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「ぐんぐんのぼそう チャレンジ編」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「学んだことを活用しよう」では、日常生活や他教科の学習内容に関わる題材が設定されている。
- 「数学旅行」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「聞いてみよう！」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある各学年の「まとめ」では、各学年及び前年度までに学習した内容が示されている。
- 本文中に高校数学と関連した内容が示されている箇所がある。
- 本文中の「発展」では、興味・関心に応じて取り組む内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得るときの参考となる、「補充」「資料」「イメージ」「考察」「探究」の5種類のマークが設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートづくり方」「レポートを書こう」が設定されている。また、各学年1箇所設定されている「レポートを書こう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

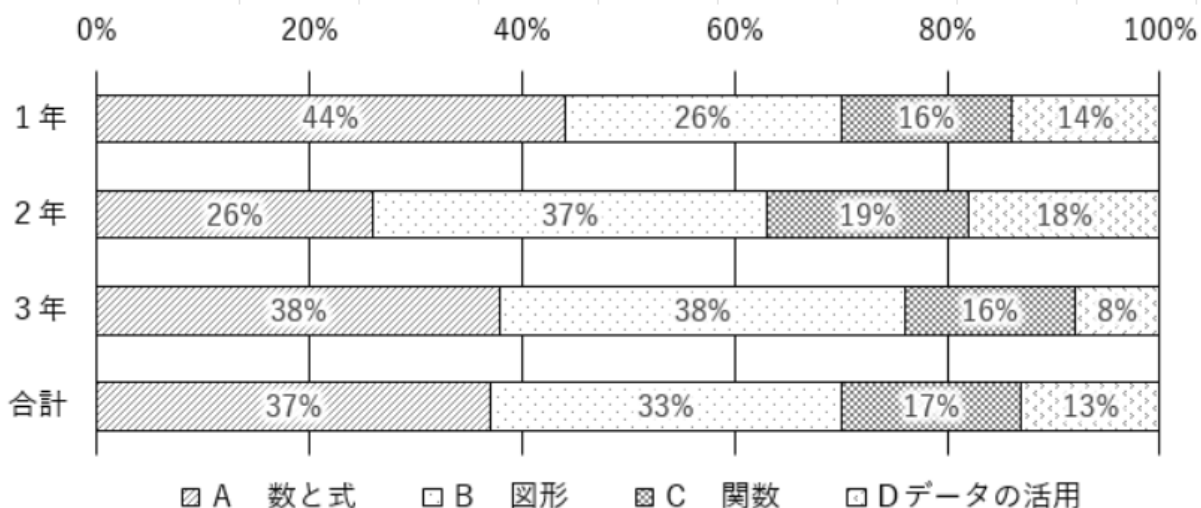
1 概括的な調査研究

(1) 総ページ数 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含む)

1年	2年	3年	合計
326	266	304	896

(2) 領域別のページ構成 (補充的・発展的な内容、巻末資料等を含まない)

	領域別のページ構成				合計
	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	
1年	104	60	38	33	235
2年	50	70	36	33	189
3年	77	78	33	14	202
合計	231	208	107	80	626



(3) 補充的な内容、発展的な内容を扱うページ

	1年	2年	3年	合計
補充的な内容を扱うページ	17	12	28	57
発展的な内容を扱うページ	4.25	2	6.5	12.75

(4) デジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

	1年	2年	3年	合計
二次元コードの数	171	123	116	410

2 数学的活動に関すること

(1) 問題発見・解決の過程について

- 各章の始めでは、その章の学習内容に関連した問題場面等が示され、数学的活動につながる「Q」が設定されている。
- 「学び合おう」のページでは「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「ふり返ろう」「深めよう」の学習の流れが設定されている。
- 学習場面に応じて「対話シート」「ふり返りシート」「次の課題」が設定されている。

(2) 数学的な見方・考え方について

- 本文中に「大切な見方・考え方」で示されている箇所がある。
- 巻頭にある「数学的な見方・考え方を身につけよう！」では、数学的な見方・考え方を働かせた場面が示されている。

(3) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得について

- 各章の始めにある「次の章を学ぶ前に」では、その章に関連する既習事項が示されている。
- 巻末に「補充問題」が設定されている。

3 興味・関心を高めること・日常生活や他の学習への活用に関すること

- 各章の始めでは、日常生活や社会の事象に関わるイラストや写真が示されている。
- 「数学のたんけん」では、章での学習内容と関連する日常的な場面等を扱う題材が設定されている。
- 「SDGsと数学」や「数学研究室」では、日常生活や社会の事象に関わる題材が設定されている。
- 「数学を仕事に生かす」では、数学と実社会や職業とのつながりに関わる題材が設定されている。
- 第1、3学年の巻末に操作活動用の切り取って使う教具が付けられている。

4 他学年や他領域との関連・自主的な学習を促す内容に関すること

- 巻末にある「図形のまとめ」では、各学年及び前年度までに学習した内容が示されている。
- 巻末にある「数学研究室」では、高校数学と関連した内容が示されている箇所がある。
- 巻末にある「数学マイトライ」では、学んだことを活用して学習を深めたり、広げたりする内容が設定されている。
- 専用サイトから資料や情報を得るときの参考となる、「教科書QRコンテンツ」が設定されている。

5 表記や表現に関すること

(1) 式、図、言葉等の数学的な表現について

- 学習内容に関する記述に関連付けて、式、表、グラフ、イラスト等が提示されている。
- 巻頭に「ノートのかふう」が設定されている。また、各学年1箇所設定されている「数学レポートをかこう」には、レポートのまとめ方が例示されている。

(2) ユニバーサルデザインに関する配慮について

- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

